

○平成24年度 高山ため池耐震診断について

1 事業の目的

近年、大規模な地震が頻発しており、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、福島県でため池が決壊したことにより甚大な被害が発生した。このことから、国において、平成23年度補正予算により、震災対策農業水利施設整備事業が創設され、農業水利施設の耐震調査が実施できることとなった。

本制度を活用して、県民の安全・安心を確保する観点から、主要なため池の震災等に対する安全性について調査を平成24年度に奈良県が実施した。

2 調査内容

- ・ 測量、調査（ボーリング調査、標準貫入試験、土質試験）、解析業務
- ・ 工期 平成24年11月9日～平成25年3月29日

○平成24年度 高山ため池耐震診断結果（奈良県農村振興課）

名 称		高山ため池		
市 町 村 名		生駒市		
諸 元	①堤 高 (m)	22.2		
	②天端高 (m)	229.3		
	③満水位 (m)	225.0		
	④余裕高 (m) ②-③	4.3		
条 件	解析手法	レベル2解析（地震波形）		
	想定地震	生駒断層帯		
検 討 結 果	⑤沈下量 (m)	一体的な土塊 (ニューマーク法)	0.5	○
		弾塑性体 (FLIP)	2.1	○
	判 定		OK	

※レベル2＝構造物の供用期間内に発生する確率は極めて稀であるが、将来にわたって当該地域で考えられる最大級の強さをもつ地震動（震度7相当：阪神淡路大震災・東日本大震災）